

昨年度の改善方策について実行した改善結果

【学校生活について】

昨年度に比べ感染症の状況は改善しているが、現在も校内での防止対策は日々行っている。今年度は生徒の安全を第一と考え、同時に学校生活の更なる充実を目指してきた。

学校関係者評価アンケートにおいて「学校生活は、楽しい。」の生徒の肯定的評価は 86.7%、また、「学校行事は、楽しい。」の生徒の肯定的評価は 89.3%であり、どちらも高い数値であった。1 年以上にも及ぶ感染症対策という制限のある学校生活を送りながらも、できる範囲の中で楽しく、前向きに取り組んでいる姿勢があると捉えることができる。また保護者の同様の項目である「本校の学校生活は、子どもにとって楽しい。」の肯定的評価は 85.4%、「学校行事は、子どもにとって楽しい。」の肯定的評価は 86.6%と、生徒と同様に高い数値であった。長きにわたり、制限のある学校生活を送っているながらも、本校の教育活動に一定の理解を示してくださったことは大変ありがたいことである。

今年度本校で改善・努力した具体的な取組は以下のとおりである。

○生徒の安全を第一に考えた学校運営。

- ・ 毎日の健康観察（検温）、マスク着用、手洗い慣行。
- ・ 校舎内の換気の徹底、教職員による消毒活動。
- ・ 全クラスに空気清浄機とCO₂モニターを設置。

○教育相談の充実

- ・ 校内特別支援委員会において、専門家をふまえた生徒理解のための研修。
外部機関との連携を視野に入れた対応の検討。
- ・ Q-U調査の結果分析。個々の生徒に合った指導方法・対応の確認。
生徒の状況の情報共有。個々に適した指導や働きかけの確認。

○生徒の自治活動の奨励

- ・ 「上級生を見習う」を基本に、生徒たちが自主的に取り組む活動の助言・支援。

【学習指導について】

学習活動においては、通常登校とオンライン授業の選択制、コロナ不安による自宅待機をしている生徒に対するオンライン授業の実施等、教職員の努力と保護者の理解を得ながら学びを止めない学習指導を進めてきた。

このような状況の中、学校関係者評価アンケートにおいて「先生は、映像やタブレットなど ICT を利用し、分かりやすい授業をしている。」の生徒の肯定的評価は 81.6%となっており、昨年度の同様の項目と比べ、10.1%上昇している。また、「先生は、生徒にいていねいに指導している。」の生徒の肯定的表は 91.3%と高い結果となった。厳しい状況下において、教員の授業改善の努力が生徒に伝わっていることが分かる。一方で、保護者の同様の数値は 52.4%、75.5%であり、生徒との結果に開きがある。これは、保護者が授業を直接観る機会がないことが一因と考えられる。同質問での「分からない」の回答が 30%、13%となっている。今後保護者の来校機会が確保された時の数値にも注目したい。

今年度本校で改善・努力した具体的な取組は以下のとおりである。

- 家庭学習をする生徒のためのオンライン学習指導。
- 少人数・習熟度別学習指導（数学・英語）、ティームティーチング（理科・英語）による授業。
- 校内研修
 - ・教員の授業力向上、I C T機器の活用、オンライン授業 他。
 - ・全教員による PISA 型読解力の育成に向けた研究授業の実施。
- 授業時間以外の学習の機会の提供
 - ・放課後補習、土曜講習、検定対策講習、教師による朝・放課後の個人学習指導
- 学び舎小学校との連携
 - ・学び舎研修会
 - 共通テーマ「PISA 型読解力の育成」を軸にした、研究授業及び研究協議会の実施。
 - ・学習習得会議の実施。
 - 学習習得確認調査の結果を基にした小中の枠を超えた、学習課題の検討と指導方法の共有。

【地域との連携】

地域との連携については未だ十分に行うことができていないのが現状である。しかしながら、可能な限りで、地域の方々の支援をいただくことができた。今後の見通しにも不透明さはあるが、できる限り地域の方々に関わっていただけるよう計画を立てていく。

学校関係者評価アンケートにおいて「学校からのお知らせ（学校だより）などにより、学校の様子が分かる。」の肯定的評価は 100%という結果であった。各行事や学校公開の際は現在もご来校についてはご遠慮いただいているが、学校に関心を寄せていただけていることは大変ありがたいことである。一方で「地域の人や施設を教育活動に活かしている。」の肯定的評価は 67.6%にとどまった。校外での活動や人材活用は現在も感染状況を鑑みながら行っている。この結果を受けとめながら、できる限り来年度以降も地域との連携をとり続けていく。

以下は今年度学校として取り組んできたり、支援を受けたりしたことである。

- C組家庭科授業支援
- ボランティア清掃での同行。
- 検定対策講習での受付作業。
- 部活動ステップ活性化委員会での各部活動の現状確認報告及び部長との懇談会。
- STEP 及び部活動における指導。